

## 目次

- 2 **巻頭のことば**  
上野理事長に聞く
- 4 **過去問に学ぶ**  
4級・3級語順選択・整序問題の解き方(続)
- 6 **語彙をふやそう**  
生理・衛生・医療
- 8 **看图学慣用語**  
絵で見る慣用語(7)
- 10 **紛らわしい文法表現**  
“V来”と“V回来”
- 12 **成語の話**  
故事成語の人名と地名
- 14 **新しいことばと古いことば**  
時代とともに変化してきた呼称語
- 15 **読者の広場**  
生活のリズムを変えて3級合格

発行 一般財団法人日本中国語検定協会

本誌掲載の記事、写真、イラスト等を無断で複製・  
複写・転載することを禁じます。

## 上野理事長に聞く

聞き手：『中国語の環』編集室

——今年の中検創設35周年ですね。

そうですね、1981年4月に前身の中国語学力認定協会を結成して同年秋に第1回の試験を実施していますから、35周年ということになりますね。

——第1回の試験は大阪で行われたとか。

そうです。実施の母体になったのが、香坂順一先生の指導の下に長年大阪で続けられていた愚公会という民間の中国語学習組織でしたから。

——先生は第1回からかかわっておられたのですか。

私は愚公会の時代に世話役のようなことをしていましたが、協会発足当時はすでに大阪を離れて関東で仕事をしていましたので、直接には試験実施にかかわっていません。

ただ、いずれは大阪だけではなく全国的に展開したいということで、級別の出題基準の作成や文部省との折衝など裏方の仕事をしていました。

——全国試験になったのはいつ頃からですか。

大阪時代から徐々に広がり始めていましたが、本格的には東京に本部を移した1985年秋の第9回からです。

——最初から今と同じ6段階の級別試験だったのですか。

当初は4段階でしたが、後に級と級の間で段差が大きすぎるということで、6段階に改めました。準4級、準1級と「準」の付いた級があるのはその名残です。

——試験内容は発足当初と現在とで違いがありますか。

レベルは大きくは変わらないと思いますが、形式はずいぶん異なっています。

当初は筆記試験が中心で、中文日訳にしても日文中訳にしても全文を訳して書かせるというのがほとんどでした。リスニングも上の級はかなり長い文章を書き取ってもらっていました。これが語学試験の本来のあり方だと私は思います。

現在のようにマークシート方式が中心に変わったのは、受験者数の増加に伴い、記述式では何千枚もある答案を、人手で短時間で対処することが難しくなったからです。

——現在はすべてコンピューターで処理しているのですか。

いいえ。まだ各級とも記述式の解答を求める出題を残していますので、この部分はすべて手作業で採点しています。試験の翌週の土曜日と日曜日に東京都と近県にお住まいの何十人も中国語の先生方にお集まり願って採点しています。

——たいへんな作業ですね。コンピューターに任せるわけにはいかないのですか。

どうでしょうか。私はコンピューターおんちですから確かなことは言えませんが、現段階では無理なのではないでしょうか。中文日訳にしても日文中訳にしても、コ

コンピューターが正誤を判断してくれるように出題に配慮を加えたのでは、結局は○×式とたいして変わらないものになってしまうのではないのでしょうか。

“**听写**”（書き取り）くらいなら、或いは可能かもしれませんね。でも、毎回プログラムをつくるのはたいへんかな。時代遅れかもしれませんが手で書いてもらって手で採点するというのが、いちばん確かなのではないのでしょうか、今のところは。

——**書き取りや作文は必ず簡体字を使って答えなければいけないのですか。**

これについては、いろいろ考え方があると思いますが、中検は簡体字で出題し簡体字で答えてもらうことを原則としています。

特に準4級から3級までの日文中訳問題では簡体字を用いて答えることと、明記しています。繁体字を用いて答えた場合は、当然減点されます。

2級から上の級では繁体字を用いても、それで統一されていれば減点されません。採点の重点は、文字よりも表現力の方に置かれるからです。とは言っても、繁体字と簡体字を混用したり、“**實**”でもなく“**实**”でもなく「**実**」と書くなど、日本語の常用漢字を交えたりしたものは減点の対象になります。

——**台湾で中国語を習った人は困るのではないのでしょうか。**

確かに戸惑うかもしれませんね。でも、もうすでに大半の中国語圏で簡体字が普及、定着しているのですから、中国語の本や新聞を読んだり中国語使って仕事をするうえで簡体字に通じていることは絶対に必要でしょうから、中検を受ける機会に習得しておくのは、決して無駄ではないはずです。それに、すでに繁体字に通じている人にとって簡体字の習得は、さほど難しいものではないはずです。便利な繁簡対照表や親切な解説書も出ていることですし……。

——**発音表記法も大陸と台湾で違いますね。**

中検では大陸で使われている“**汉语拼音方案**”，中国語表音つづり法とでも訳すのでしょうか、俗にピンインと呼んでいますが、この方式によっています。

これは中華人民共和国成立後の1950年代に制定されたもので、アルファベットを使用しているところから国際性も高く、国連でも中国の人名や地名の表記にはこの方式を採用しています。

一方、台湾においては中華民国時代に制定された注音字母と呼ばれる特殊な記号をそのまま使い続けています。

注音字母は忠実に発音を反映させることができるという点では或いはピンインよりも正確であると言えるかもしれませんが、いかんせん記号があまりにも特殊すぎて覚えにくく、日常性、国際性という点でピンイン方式の便利さに及びません。

そのため、台湾においても、留学生に対する中国語教育などの場においては、注音字母と並行してピンインやピンインを一部改めたと思われる方式を採用しているようです。駅名や道路名の表示にも漢字と並べてピンインに似た方式のローマ字つづりを使用しています。

そんな次第ですから、簡体字の場合と同じ理由で、注音字母で習った人も、ピンインに習熟しておかれるのがよいと思います。

## 4級・3級語順選択・整序問題の解き方(続)

『中国語の環』編集室

前号の第86回の問題に続き、第87回の問題のポイントを解説します。

【4級】第87回（2015年11月）

(1)少しゆっくり話してください。

请慢一点儿说。Qǐng màn yidiǎnr shuō.

ポイント 「少しゆっくり」の“慢一点儿”は動詞“说”の前に置きます。

(2)きょうはきのうほど暑くありません。

今天没有昨天那么热。Jīntiān méiyǒu zuótiān nàme rè.

ポイント 「AはBほど…でない」という比較の否定形は「A + “没有” + B + “这么/那么” + 形容詞」の語順になります。

(3)きょうわたしは自転車で学校に行くつもりです。

今天我打算骑车去学校。Jīntiān wǒ dǎsuan qí chē qù xuéxiào.

ポイント “打算”は動詞フレーズを目的語に取ります。

(4)彼は先生にいくつか質問をしました。

他问了老师几个问题。Tā wènle lǎoshī jǐ ge wèntí.

ポイント “问”は2重目的語を取る動詞です。目的語はヒトが先、モノが後。

(5)彼らもみな中国語を勉強しているのですか。

他们也都学习汉语吗？ Tāmen yě dōu xuéxí Hànyǔ ma?

ポイント 副詞“也”と“都”の語順に注意しましょう。

(6)わたしたちの学校に新しい先生が1人来られました。

我们学校来了一位新老师。Wǒmen xuéxiào lái le yí wèi xīn lǎoshī.

ポイント 存現文ですから、「場所+動詞+人」の順に並べます。

(7)もう一杯どうぞ。

再喝一杯吧。Zài hē yì bēi ba.

ポイント 「一杯飲む」は“喝一杯”。副詞“再”は“喝一杯”の前に。

(8)この服はあの服より少し高い。

这件衣服比那件衣服贵一点儿。Zhè jiàn yīfu bǐ nà jiàn yīfu guì yidiǎnr.

ポイント 比較文の語順は「A + “比” + B + 形容詞」で、差を表す“一点儿”は形容詞のあとに置きます。

(9)彼らは教室で宿題をしています。

他们在教室做作业呢。Tāmen zài jiàoshì zuò zuòyè ne.

ポイント 「教室で宿題をする」は“在教室做作业”と場所を表す“在教室”を動詞フレーズ“做作业”の前に置きます。文末の“呢”が進行を表しています。

(10)彼女は歌を歌うのがとても上手です。

她唱歌唱得非常好。Tā chàng gē chàngde fēicháng hǎo.

**ポイント** “唱歌唱得好”のように、もう一度動詞“唱”を繰り返します。

【3級】第87回（2015年11月）

(1)彼は北京へ行ってもう2年になります。

他去北京都两年了。Tā qù Běijīng dōu liǎng nián le.

**ポイント** 文末の“了”はまだその状態が継続していることを示しています。

(2)きのうのコンサートには8000人が来た。

昨天的音乐会来了8000人。Zuótiān de yīnyuèhuì lái le bāqiān rén.

**ポイント** 存現文ですから「場所+動詞+人」の語順で並べます。

(3)わたしは両親と一緒に住んでいません。

我没跟父母一起住。Wǒ méi gēn fùmǔ yìqǐ zhù.

**ポイント** 「両親と一緒に住む」は“跟父母一起住”で、その否定形「住んでいません」は“没”を用いて“没跟父母一起住”とします。

(4)父はわたしにバイクで通学するなどと言います。

爸爸不让我骑摩托车去学校。Bàba bú ràng wǒ qí mótuōchē qù xuéxiào.

**ポイント** 「…するなど言う」は「…させない」と考えて“不让…”を使います。

(5)冬休みになったらわたしは中国へ旅行に行きます。

等放了寒假我就去中国旅行。Děng fàngle hánjià wǒ jiù qù Zhōngguó lǚxíng.

**ポイント** “等”は「待つ」という意味から転じて接続詞的に使われています。

(6)この歌はわたしは一度しか聞いたことがありません。

这首歌我只听过一次。Zhè shǒu gē wǒ zhǐ tīngguo yí cì.

**ポイント** 訳文は「一度だけ聞いたことがある」と肯定形を用いています。

(7)この事はあなたは誰から聞いたのですか。

这件事你听说说的？ Zhè jiàn shì nǐ tīng shéi shuō de?

**ポイント** “听说”は“听说”のように“听”と“说”の間に情報の出所を表す語を置くことができます。文末の“的”は“是…的”構文の“的”です。

(8)父は毎日歩いて会社に行きます。

爸爸每天走着去公司。Bàba měi tiān zǒuzhe qù gōngsī.

**ポイント** 「…しながら…する」は前の動詞に“着”を付けて連動文で。

(9)わたしは自分の名前を人に知られたくない。

我不想让人知道我的名字。Wǒ bù xiǎng ràng rén zhīdao wǒ de míngzi.

**ポイント** 「人に自分の名前を知られる」は“让人知道我的名字”です。「知られたくない」は“不想知道…”とします。

(10)それをわたしにちょっと見せてください。

请把那个给我看看。Qǐng bǎ nàge gěi wǒ kànkàn.

**ポイント** “把”構文を用います。「わたしにちょっと見せる」は恩恵を与える対象を示す介詞“给”を用いて“给我看看”とします。

## 生理・衛生・医療

『中国語の環』編集室(U)

生理・衛生・医療に関する主な名詞を掲げる。“发烧”(fāshāo—熱が出る, 発熱する), “咳嗽”(kēsou—せきをする), “打喷嚏”(dǎ pēntì—くしゃみをする)などの動詞や動詞フレーズも併せて覚えておきたい。

「診察」は“看病”(kànbìng), 「受診手続き」は“挂号”(guàhào), 「入院」は“住院”(zhùyuàn), 「注射」は“注射”(zhùshè), “打针”(dǎzhēn)。

いくつかわかりますか？

以下はおよその目安です。

全部	40語以上	30語以上	20語以上
2級以上	3級レベル	4級レベル	準4級レベル

- |                                 |          |                                 |
|---------------------------------|----------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 神经  | shénjīng | 神経。                             |
| <input type="checkbox"/> 2. 呼吸  | hūxī     | 呼吸。                             |
| <input type="checkbox"/> 3. 血液  | xuèyè    | 血液。口語は〈血 xiě〉                   |
| <input type="checkbox"/> 4. 血型  | xuèxíng  | 血液型。                            |
| <input type="checkbox"/> 5. 血压  | xuèyā    | 血圧。                             |
| <input type="checkbox"/> 6. 乳汁  | rǔzhī    | 乳(ちち)。俗に〈奶 nǎi〉。                |
| <input type="checkbox"/> 7. 胃液  | wèiyè    | 胃液。                             |
| <input type="checkbox"/> 8. 胆汁  | dǎnzhi   | 胆汁。                             |
| <input type="checkbox"/> 9. 汗   | hàn      | 汗。(滴 dī)                        |
| <input type="checkbox"/> 10. 眼泪 | yǎnlèi   | 涙。(滴 dī)(行 háng)                |
| <input type="checkbox"/> 11. 唾液 | tuòyè    | 唾液, つば。俗に〈唾沫 tuòmò〉〈口水 kǒushuǐ〉 |
| <input type="checkbox"/> 12. 鼻涕 | bítì     | 鼻汁, 鼻水。                         |
| <input type="checkbox"/> 13. 大便 | dàbiàn   | 大便。                             |
| <input type="checkbox"/> 14. 小便 | xiǎobiàn | 小便。                             |
| <input type="checkbox"/> 15. 月经 | yuèjīng  | 月経, 生理。                         |
| <input type="checkbox"/> 16. 营养 | yíngyǎng | 栄養。                             |
| <input type="checkbox"/> 17. 保健 | bǎojiàn  | 保健。                             |
| <input type="checkbox"/> 18. 卫生 | wèishēng | 衛生。                             |
| <input type="checkbox"/> 19. 伤  | shāng    | きず, けが。                         |
| <input type="checkbox"/> 20. 病  | bìng     | 病, 病気。                          |
| <input type="checkbox"/> 21. 感冒 | gǎnmào   | 風邪。                             |
| <input type="checkbox"/> 22. 痢疾 | lìjì     | 痢病(りびょう); 赤痢の類。                 |

□23. 伤寒	shānghán	腸チフス。
□24. 霍乱	huòluàn	コレラ。
□25. 结核	jiéhé	結核；特に〈肺结核 fèijiéhé—肺結核〉。
□26. 肝炎	gānyán	肝炎。
□27. 心脏病	xīnzàngbìng	心臓病。
□28. 神经病	shénjīngbìng	神経病，ノイローゼ。
□29. 疮	chuāng	できもの。
□30. 传染病	chuánrǎnbìng	伝染病。
□31. 急性病	jíxìngbìng	急性病。
□32. 慢性病	mànxìngbìng	慢性病。
□33. 医院	yīyuàn	病院。(所 suǒ)(家 jiā)
□34. 病房	bìngfáng	病室。(病室 bìngshì) とも。(间 jiān)
□35. 诊疗所	zhěnliaosuǒ	診療所。(家 jiā)
□36. 门诊	ménzhěn	外来診察。
□37. 出诊	chūzhěn	往診。
□38. 急诊	jízhěn	応急診断，急診。
□39. 内科	nèikē	内科。
□40. 外科	wàikē	外科。
□41. 牙科	yákē	齒科。
□42. 骨科	gǔkē	整形外科，接骨科。
□43. 皮肤科	pífūkē	皮膚科。
□44. 妇产科	fùchǎnkē	産婦人科。
□45. 儿科	érkē	小児科。
□46. 眼科	yǎnkē	眼科。
□47. 耳鼻喉科	ěrbinóukē	耳鼻咽喉科。
□48. 中医	zhōngyī	中国医学。
□49. 西医	xīyī	西洋医学。
□50. 药	yào	薬。(服 fú)(剂 jì)(粒 lì)
□51. 中药	zhōngyào	中国医学による薬；漢方薬。
□52. 西药	xīyào	西洋医学による薬。
□53. 外用药	wàiyòngyào	塗り薬。
□54. 内服药	nèifúyào	内服薬。
□55. 药方	yàofāng	処方，処方箋。(方子 fāngzi) とも。
□56. 药铺	yàopù	薬屋；主に“中药”を扱う。(家 jiā)
□57. 药房	yàofáng	薬局；主に“西药”を扱う。(家 jiā)
□58. 注射	zhùshè	注射。
□59. 针灸	zhēnjiǔ	鍼(はり)と灸(きゅう)。
□60. 手术	shǒushù	手術。

## 絵で見る慣用語(7)

絵・張恢

文・『中国語の環』編集室



### 开后门 kāi hòumén

裏口を開ける；職権を利用して便宜を与える。コネや賄賂など不正な手段を用いて私利を図る。



### 开小差(儿) kāi xiǎochāi(r)

もと、兵士が逃走する、脱走する。また広く持ち場を放棄する。いま多く心がそこになく集中心を欠く意に。うわの空である。



### 看热闹 kàn rènao

にぎわいを見物する。また騒ぎや他人が難儀しているのを傍観する。人家遇到困难，他却在一旁看热闹。人が難儀しているのに、彼は手を貸さずにそばでながめている。



### 开绿灯 kāi lǜdēng

青信号を出す；計画や企画が順調に運ぶように便宜を図る。ゴーサインを出す。不能为投机倒把等违法活动开绿灯。闇取引などの違法行為を許認可してはならない。



### 侃大山 kǎn dàshān

とりとめもなくおしゃべりをする。“砍大山”とも書く。北京方言から。他们没事就凑在一起侃大山。彼らは暇があると集まってよもやま話に興じる。



### 口服心不服 kǒufú xīn bù fú

口先では服従するが、腹では承服していない。“口服心服”(kǒufú xīnfú一心から服従する)に対して。





**扣帽子 kòu màozi**

ある人物や事物に一面的な評価を与える；レッテルを貼る。悪名を着せる。罪をなすりつける。

**别随便给人扣帽子。** やたらに人にレッテルを貼ってはならない。



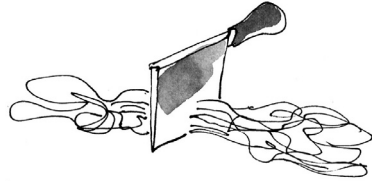
**拉大旗，作虎皮 lā dàqí, zuò hǔpí**

大きな旗を掲げて虎の皮の代わりにする；はったりをきかす，こけおどしをする。見せかけだけでもっともらしく見せて人をおどす。



**捞稻草 lāo dào cǎo**

(水におぼれかけている人が) わらをつかむ；わらにもすがる；窮地でむだなあがきをする。また，うまいことをしようとする意にも。



**快刀斩乱麻 kuàidāo zhǎn luànmá**

快刀乱麻を断つ；(切れ味のよい刀剣で乱れもつれた麻を切るように) もつれた物事をきっぱり処断・解決する。面倒で複雑な事柄をてきぱきと手際よく片づける。



**拉下马 lāxià mǎ**

馬から引き下ろす；権力者などをその地位から引きずり下ろす。失脚させる。**把贪官拉下马。** 汚職官吏を引きずり下ろす。



**捞外快 lāo wàikuài**

正規外の収入を得る；臨時収入を得る。余禄を得る。役得にあずかる。“捞外水”(lāo wàishuǐ) とも。

## “V来”と“V回来”

日本中国語検定協会評議員・文京学院大学 魯 曉琨

“来”も“回来”も方向動詞で、まず述語として用いられます。たとえば、

(1) a 叔叔来了。(叔父さんが来た。)

b 爸爸回来了。(お父さんが帰ってきた。)

(2) a 她换件衣服就来。(彼女は着替えたらすぐ来る。)

b 她换件衣服就回来。(彼女は着替えたらすぐ戻ってくる。)

“来”は単に仕手(動作主)が話し手のところに移動することを表すのに対して、“回来”は(1)bでは仕手が自分のホームに移動することも、(2)bでは仕手が元いた場所に移動することも表します。ただし、ホームの範囲は家に限らず、自分の学校、職場、居住地、国等まで拡大することができます。たとえば、

(3) 经理已经离开大阪，下午回公司来。

(社長はもう大阪を出ていて、午後に会社に帰ってきます。)

(4) 听说田中昨天从中国回来了。

(田中さんは昨日中国から帰ってきたそうです。)

また、“来”と“回来”は動詞の後に置かれ、方向補語として用いることもでき、“V来”と“V回来”となります。

“V来”“V回来”のうち、まず(5)(6)のように動作の受け手がないケースにおいては、述語の場合と同様、“V来”は単にある動作によって仕手が話し手のところに移動することを表すのに対して、“V回来”はある動作によって仕手が自分のホーム或いは元あった又はいた場所(以下「元の場所」とする)に移動することも表します。

(5) a 叔叔跑来了。(叔父さんが走ってきた。)

b 爸爸跑回来了。(お父さんが走って帰ってきた。)

(6) a 前面滚来了一个球。(前からボールが転がってきた。)

b 那个球刚滚过去又滚回来了。

(あのボールは転がっていったと思ったら戻ってきた。)

なお、(1)~(6)のケースにおいては“来”と“回来”に互換性はなく、仕手が移動する場所によって、“来”または“回来”のどちらかのみを使います。

一方、“V来”“V回来”のうち、受け手があるケースにおいては、受け手が移動する場所によって使い方が異なります。

1. 受け手の移動先が、受け手の元の場所である場合

(7) 妈妈把孩子叫回来了。

(お母さんは子どもを呼んで家に帰らせた。)

(8) 稿子被出版社退回来了。

(原稿は出版社から差し戻された。)

この場合、“**V回来**”は“**把**”構文または受身文に用いられます。“**把**”構文では、仕手が行為によって受け手を元の場所に戻すことを表します。例(7)では“**妈妈**”が“**叫**”という行為で“**孩子**”を元の場所に戻しました。受身文では、受け手は仕手の行為によって戻されたことを表します。例(8)では“**稿子**”は“**出版社**”の“**退**”という行為で戻されました。

この場合は“**V回来**”しか使えず、“**V来**”に置き換えることができません。

2. 受け手の移動先が、受け手の元の場所ではない場合

この場合は、受け手の移動先が仕手のホームかどうかによって変わります。

(9) **a** 昨天叔叔买来一箱苹果。

(昨日、叔父さんはリンゴを一箱買ってきた。)

**b** 昨天爸爸买回来一箱苹果。

(昨日、お父さんはリンゴを一箱買ってきた。)

(10) **a** 春节叔叔从伦敦给我寄来一件礼物。

(旧正月に叔父さんはロンドンからプレゼントを送ってきた。)

**b** 春节爸爸从伦敦给我寄回来一件礼物。

(旧正月にお父さんはロンドンからプレゼントを送ってきた。)

例(9)(10)の **a** 文も **b** 文も仕手が受け手を話し手のところに移動させているが、その違いは以下とおりです。

**a**) 受け手の移動先が仕手のホームでないケース

例(9) **a** (10) **a** では“**苹果**”“**礼物**”の移動先は話し手の家であり、“**叔叔**”のホームではありません。

この場合は“**V来**”しか使えず、“**V回来**”に置き換えることはできません。

**b**) 受け手の移動先が仕手のホームであるケース

例(9) **b** (10) **b** では“**苹果**”“**礼物**”の移動先は話し手の家であるとともに、仕手である“**爸爸**”の家、つまり“**爸爸**”のホームでもあります。

この場合、“**V回来**”がもっとも適切な表現ですが、「仕手のホーム」に着目しなければ、“**V来**”も使用可能です。

ちなみに、例(9)と(10)の違いについては、例(9)では仕手も受け手と同時に同じ移動先に移動するが、例(10)では仕手は移動しないと指摘されています。つまり、例(9)では、“**叔叔**”“**爸爸**”も「来た」「帰ってきた」のに対し、例(10)では“**叔叔**”“**爸爸**”は移動せず、ロンドンにいるということです。ただ使い分けを考える際は、この違いは気にしなくてもいいです。例えば、ネットショッピングが普及している現在は“**叔叔**”も“**爸爸**”も移動せず、リンゴを買ってきた可能性があります。それでも例(9)をそのまま用いることができます。要するに受け手がある場合には“**V来**”も“**V回来**”も受け手を指向するわけです。

参考文献

荒川清秀(2005)“**买回来**”と“**寄回来**”－中国語における他動詞＋方向補語の構造、『中国語学』第252号

## 故事成語の人名と地名

日本中国語検定協会理事・筑波大学 大塚秀明

成語とはなにか。「①古人がつくり、後人によく引用される語句。成句。②熟語と同じ」と『広辞苑』にある。古来の用例を挙げる『日本国語大辞典』の「成語」の項には漢籍の引用はなく18世紀の用例があるが、「成語」は明らかに漢籍の言葉である。現代中国語の“成語”の定義には日本語の語釈に比べると詳細な記述が見られるが、四字成語と四字連語の線引きが難しいという。《新华拼音词典》はピンイン表記を体系的にまとめ、分かち書きに一定の指針を与えた詞典であるが、成語か否かを知る方法として「権威性のある成語詞典に依拠すること」としている。もちろん但書きで次のように補説している。「徹底的に問題を解決したことにならないが、他に方法がない」と極めて実用的な説明である。乱暴なことをいえば、学習者でも利用者でも、成語であろうと連語であろうと、必要な語句であれば習って使うのである。

線引きは難しいとはいっても正真正銘の“成語”がある。それが所謂「故事成語」である。《現代汉语词典》に「来源や典故を知らないという意味が分からない成語がある」として“朝三暮四”と“杯弓蛇影”が挙げられている。ともに日本語に受容され、前者は「ちょうさんぼし」、後者は「はいちゅう-の-だえい」として辞書に収められ、故事が簡潔に記されている。四字に限らず「矛盾」「助長」「蛇足」など二字の単語も字面の意味だけでは意味はつかめず、学ばなければ字面+αが分からないのは日本語でも中国語でも同じである。ただ日本語に比べて中国語では四字成語として登録されることが多い。“自相矛盾”、“揠苗助长”、“画蛇添足”と四字に整えられ、《韓非子》、《孟子》、《戦国策》にある物語で、登場人物は盾と矛を売る人と苗を育てる農民と酒を振る舞われた人である。こうした名前がない人物だけでなく、故事成語には人名が使われている成語がある。

ここで問題です。固有名詞でないものもあるが、次の適当な人物をa~jから選びなさい。

- |   |                    |              |
|---|--------------------|--------------|
| ①馬を失った人                                 | ②山を移した人            | ③龍が好きな人      |
| ④呉地方にいた人                                | ⑤自己推薦をした人          | ⑥才能が尽きてしまった人 |
| ⑦合格者名簿の最後に載った人                          | ⑧鵜(う)と蚌(マガリ)を手にした人 |              |
| ⑨自宅の門前で斧を振り回された人                        | ⑩天が落ちやしないかと心配した人   |              |
| a阿蒙 b江郎 c魯班 d毛遂 e杞人 f塞翁 g孫山 h葉公 i愚公 j漁夫 |                    |              |

正解です。①-f: 塞翁失馬sài wēng shī mǎ: 塞翁が馬。②-i: 愚公移山yú gōng yí shān: 愚公 山を移す。③-h: 叶公好龙yè gōng hào lóng: 春秋時代、葉公(しょうこう)は龍が好きだと言って絵や彫り物を部屋に飾っていたが本物の龍がやってくると怖がって逃げだしたという話から、口先だけの好み。④-a: 呉下阿

蒙wú xià ā méng : 呉下の阿蒙。⑤-d : 毛遂自荐máo suì zì jiàn : 戦国時代, 趙の平原君の食客の毛遂が自ら志願して平原君に同行して楚に赴き援軍を得て自国を救ったという故事から, 仕事を自薦して行くこと。⑥-b : 江郎才尽jiāng láng cái jìn : 六朝の文学者江淹が夢で自分の筆を郭璞に渡してから詩が作れなくなったという話から, 文学的才能が衰えてしまったこと。⑦-g : 名落孙山míng luò sūn shān : 孫山は, 合格者の最後の名前が自分で, ご子息のお名前は私の後にありましたと言った故事から, 落第したり選に漏れたことをいう。⑧-j : 漁翁得利yú wēng dé lì : 漁夫(漁父)の利。“鷸yù蚌bàng相争”に続いて, 四字+四字で使われる。⑨-c : 班门弄斧bān mén nòng fǔ : 古代の名工である魯班の門前で斧を振るった話から, 達人のまゝで自分の腕をひけらかすこと。身の程知らずである。⑩-e : 杞人忧天qǐ rén yōu tiān : 杞(キ)憂。杞人の憂い。

再び, ここで問題です。人名だけでなく地名が使われている故事成語もあります。同じくa-jから選びなさい。

①夢で見た場所	②歩き方を学んだ場所	③俗世間と隔絶した場所
④白いぶたのいる場所	⑤ロバの技で名を残した国	⑥紙の値段が高くなった都市
⑦太陽を見ると犬が吠える国	⑧蜀の国を望むまゝに得ようと思った場所	
⑨璧(ハク)をまっとうして持ち帰った国	⑩自分を大したものだと思い込んでいた国	
a隴	b黔	c蜀
d趙	e邯鄲	f桃源
g遼東	h洛陽	i南柯
j夜郎		

再び正解です。①-i : 南柯一夢nán kē yī mèng : 南柯の夢。②-e : 邯鄲学歩hán dān xué bù : 邯鄲の歩み。③-f : 世外桃源shì wài táo yuán : 桃源郷。④-g : 辽东白豕liáo dōng bái shǐ : 遼東の豕(いのこ)。⑤-b : 黔驴技穷qián lú jì qióng : 黔(ケン, 今の貴州省)には昔, 驢馬がいなかった。ある人が驢馬を引いてやってくるのと虎が驢馬を喰おうとしたが, どのような技能があるのか分からなかった。しばらく驢馬をからかうと大声で鳴き蹴飛ばすことしかできないことを知り, 驢馬をかみ殺したという話から, わずかな技能しかないこと。⑥-h : 洛阳纸贵luò yáng zhǐ guì : 洛陽の紙価を高める。⑦-c : 蜀犬吠日shǔ quǎn fèi rì : 蜀(シヨク, 今の四川省)は霧が多く, 太陽があまり出ないので, 蜀の犬は見慣れない太陽が出ると吠えるという話から, 見聞の狭い人間は何でも変だと思うこと。⑧-a : 得陇望蜀dé lǒng wàng shǔ : 隴(ロウ)を得て蜀を望む。望蜀。⑨-d : 完璧归赵wán bì guī zhào : 十五の町と交換するということで藺(リン)相如が和(カ)氏の宝玉を秦に持参したが, 約束が守られないので宝玉を取り返して趙に持ち帰ったという話から, もとのままそっくり借りた人に返すことをいう。⑩-j : 夜郎自大yè láng zì dà : 夜郎(古代, 中国西南部にあった王国)自大。身の程をわきまえずに威張ること。

人名と地名が含まれる故事成語の多くが, 音読みや訓読みされて現代日本語で使われている。中国語の言語文化の精華である故事成語は日本語に取り入れられ, 日本語を豊かにしてきた。現代中国語ではあまり使われない漢字の多くが四字成語のなかでは重要な字として存在感を示している。日本語を豊富にする意味でも中国語の故事成語を学ぶことは意義があり, ショートショートを読むような面白さがある。

## 時代とともに変化してきた呼称語

日本中国語検定協会評議員・共立女子大学 李錚強

知らない人に声をかける際、日本語では相手にかかわらず「すみませんが…」と一言で済ませることができるが、中国語では“对不起…”とは言わず、何らかの呼称語を用いなければならない。中国語の呼称語は数が多く日本語よりかなり複雑だ。日本での生活が長くなったせいか、最近中国滞在中、レストランのウェーターやデパートの店員に対して呼びかける際、呼称語の用い方によく困惑する。

社会主義中国が成立してから“老爷”（旦那さま），“少爷”（若旦那・坊ちやま），“太太”（奥さま），“小姐”（お嬢さま）など旧社会で使われていた呼称語がブルジョア階級の観念を反映する言葉だと見なされ、用いられなくなってしまった。代わって、かつては共産党組織内部でしか使わなかった“同志”という語の使用範囲が拡大され、一般的な社会呼称として定着するようになった。この“同志”は政治的色彩が強そうだが、老若男女・職業や社会的地位を問わず、どんな相手に対しても用いることができる点から見れば、非常に便利だと思う。しかし1980年代の半ばから経済の高度成長や文化の多元化にともない、この“同志”に抵抗感を覚えるようになり、それと同時に“先生”“女士”“老板”“太太”など旧社会の呼称語が復活し、“同志”は今やすでに一般のコミュニケーションの場から消えてしまい、むしろ共産党内部の用語という原点に回帰したと言えよう。

21世紀に入ってから新しい社会階層の形成にともない、呼称語がさらに紛らわしくなった。現在中国の社会生活で最低限覚えてほしい呼称語を挙げよう。

“先生”は面識のない大人の男性に対する尊称だから、外国人男性に対してもよく用いられるが、日本語の「先生」というニュアンスとは違う。“师傅”はもともと「師匠」という意味から運転手・ホテルの従業員・調理師・美容師など技能を持つ大人の男性に対する中国人同士の呼びかけ語に使われる。“老板”はもともと新中国成立以前の個人経営者または店主に対する呼称だが、市場経済への転換にしたがっていったん死語同然になったこの“老板”が再登場し、どの業界でも組織内の上司を“老板”と呼ぶように使用範囲が広がりつつある。最近、観光地の土産店に入り、“老板”と呼ばれたことがあるが、30数年前に初めて日本を訪問したときに地方の観光地で「社長さん」と呼ばれてビックリした記憶がよみがえった。“女士”は“先生”と対応し、面識のない大人の女性に用いる。“小姐”はもともと「お嬢さま」という意味で、若い女性に対する尊称で、日本語の「おねえさん」に当たる語として女性店員やウエイトレスに呼びかける際に広く使われてきたが、近年、風俗業で働く若い女性を呼ぶ場合に使われるようになってから、場合によっては“小姐”と呼びかけられた女性は不快感を覚えるようだ。最後に小・中学生に対しては“小同学”を、幼稚園児を含む児童に対する呼びかけには“小朋友”を使う。

## 生活のリズムを変えて3級合格

大田 攻

70歳を目前に何としても中検3級を成就したいものと一念発起し、方策を練ることと致しました。準4級、4級と順調にクリアしてきましたが、3級の壁は私には思いの外高いものだ実感しました。

振り返ってみますと私と中国語との出会いは前職場で中国人研修生を雇用し、彼らと直接接する機会に遭遇したことであります。私の長男と同世代の子が親元を離れ3年間の研修生活を異国の地で過ごすことに他人事とは思えぬ感情を持ったものです。たまたま、彼らを指導教育する立場にいた私は機会あるごとに彼らに接してきました。如何せん中国語といえば「ニイハオ」と「シエシエ」くらいしか知識はなかった私、彼らとの移動中、あるいは業務上の伝達等が生じたとき常に感じていたことですが、こちらの意図する事や意思がほとんど伝わっていかないことにじれったさを感じていたものであります。また移動中の車中で彼らが交わす中国語での会話を傍らで聞いていて、私にはもちろん、まったく通じるものでなく、会話の中に入れられないもやもやを感じていたものであります。「何とかこちらの思いの一端くらいは伝えられないものか」と切に感じるようになり、彼らとの距離を縮めるには、こちらから歩み寄る、つまりこちらが中国語を学ぶことも一つの方法ではないかとの思いに到達したのであります。早速書店で中国語の入門書を買って独学で勉強を始めた次第です。その後定年を迎え、たまたま縁があり中国人研修生を扱う団体にお世話になり、これを機会に本格的に中国語を学ぶ決心をしたものです。「職場で中国人の生の声が聴かれる」ことの喜びを感じたものです。

さて、冒頭の3級の壁を打破するために私の採った方策は「生活のリズムの主体を中国語漬け」に変えることでした。具体的な方策、その1、朝晩の車での通勤時間（片道45分）にカセットを繰り返し聞く。その2、朝食の段どり（料理は妻）、夕食後の皿洗い時にリスニングの問題を聞く（≒40分）。その3、問題集を常に携帯し寸暇を惜しみ読む。その4、リスニング問題の解答を暗記し筆記問題の答えをも暗記する…2種類の問題集を毎日必ず2時間勉強。

このような手法で私は中国語の勉強を生活の一番に位置づけし、何とか4級まで合格にこぎつけました。残念ながら70歳の3級合格は叶わず、早71歳3か月になっていました。

現在も時々職場を訪ね、要請があれば中国人研修生に日本語はもちろん日本の文化や生活習慣などについて教える機会があります。3級を取得したことにより、何とかこちらの意思が伝わるようになったと自負しております。中国語を勉強するようになって、益々中国語の奥の深さ、漢字文化の広さを痛感しており、中国語の勉強はまだまだ緒についたばかりと思っています。

私の書齋もこれを機会に、これまで集めた中国関連のグッズ（多少の書、絵あり）で模様替えし、時々二胡のCDを聴き中国関連の書物、そして叶わぬかもしれませんが中国語検定2級への挑戦を始めたところでもあります。4字熟語、3字熟語……と際限なく広がる中国語にどこまで自分が挑戦できるか、自分を試してみたいと思っております。

- …簡体字のなりたち……………
- … 今日中国では漢字が大幅に簡略化され、それが正式に認められている。これをもとの漢字と対比してみると：
- … (1) もとの字の一部を残したもの（\*印は古字）
- … 丰\*（豊） 电\*（電） 开（開） 习（習） 儿（兒） 飞（飛）
- … (2) へん・つくりを簡略化したもの
- … 浅（淺） 济（劑） 妇（婦） 观（觀） 鸡（鷄）
- … (3) 同音または近似音の簡単な字を借りたもの
- … 谷（穀） 斗（鬪） 丑（醜） 只（隻） 几（幾） 干（乾・幹）
- … (4) 草書体を採用したり、輪郭だけ残したりしたもの
- … 马（馬） 书（書） 长（長） 亚（亞） 广（廣） 气（氣）
- … (5) 形声文字の原理を利用したもの(注)
- … 忧（憂） 惊（驚） 护（護） 态（態） 运（運） 构（構）
- ……………

(注) 例えば“忧”はりっしんべんの“忄”で心のはたらきを、“尤”の字で発音yōuを、“护”はてへん“扌”で「かばう、まもる」という動作を、“户”が発音hùを示している。

『中国語の環』第100号誤植訂正  
第16頁「編集後記」5行目に「18年前の文章」とあるのは、「28年前の文章」の誤りでした。お詫びして訂正します。

『読者の広場』への投稿を募集しています。中国語に関すること、検定試験に関することなど、400字～1,000字程度でお寄せください（Eメール、郵便ともに可）。採用された方には、記念品を進呈します。  
なお、ご投稿いただいた原稿を掲載するにあたり、編集室側で若干の加筆・修正をさせていただきます場合がございます。予めご了承ください。